

科目名 精神看護援助論Ⅲ 時間割表記名 精神看護援助論Ⅲ	配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 15 時間(8 回)	講義担当者 樋口裕也 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 基礎看護技術(コミュニケーション)で学んだ知識を想起し、プロセスレコードを活用できるよう準備しておく。 精神看護学概論、精神看護学援助論Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を想起し、活用できるよう準備しておく。			
授業目標 1. プロセスレコードを活用し、患者—看護師関係についてアセスメントできる。 2. 精神障害に特徴的な症例の看護過程展開を通して、対象に必要な看護を明らかにすることができる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 精神科看護におけるセルフケア理論	講義	テキスト①②③
2	1)オレムアンダーウッドモデル		
3	3.統合失調症で幻覚妄想のある対象の事例展開	グループワーク	
4	1)アセスメント	DVD 視聴	
5	2)看護問題の明確化 看護診断	グループワーク	
6	3)介入計画の立案 4)統合失調症で幻覚妄想のある対象に必要な看護	グループワーク	
7	2.患者—看護師関係の構築	講義	テキスト③
8	1)ヒルデガード＝E＝ペロウの人間関係の看護論 2)患者—看護師関係を理解するための手がかり 統合失調症で幻覚妄想のある対象との関係構築 3)精神障害をもつ人との関係の振り返り プロセスレコードの検討	グループワーク * 第 8 次は 45 分	
受講上の注意 ○課題レポートはルーブリックを示して評価する。			評価方法 レポート
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎, 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開, 医学書院 ③新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社			

参考文献

①系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院